

## レジメンスケジュール

診療科	血液内科
適応	多発性骨髄腫
レジメン	血内MM DLd(皮下注)療法

申請・改訂日	2021年6月
備考	初発と再発難治でデキサメタゾンの投与スケジュール違いあり

クール関連
初発では週1回40mg、再発難治では2日に分けて20mgずつ

使用した臨床データ
がん化学療法レジメンハンドブック

1~2クール目(28日/クール)																						
投与順	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	...	day8	...	day15	...	day22	...	...	...	...	...	...	day28		
①	○	デキサメタゾン	40mg/週	内服		②投与時は1時間前に内服、点滴も可。1クールday1のみモンテルカスト10mg内服可	○		○		○		○		再発難治では20mgをday1,2,8,9,15,16,22,23投与						終了	
①		ジフェンヒドラミン	25-50mg	内服			○		○		○		○									
①		アセトアミノフェン	650-1000mg	内服			○		○		○		○									
②	○	ダラツズマブ(皮下製剤)	15mL/body	皮下注	3~5分	投与後30分は経過観察	○		○		○		○									
③	○	レナリトミド	25mg	内服			day1-21内服(3投1休)															

3~6クール目(28日/クール)																						
投与順	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	...	...	...	day15	...	...	...	...	...	...	...	...	day28		
①	○	デキサメタゾン	40mg/週	内服		②投与時は1時間前に内服、点滴も可。	○				○		再発難治では20mgをday1,2,15,16投与								終了	
①		ジフェンヒドラミン	25-50mg	内服			○				○											
①		アセトアミノフェン	650-1000mg	内服			○				○											
②	○	ダラツズマブ(皮下製剤)	15mL/body	皮下注	3~5分	投与後30分は経過観察	○				○											
③	○	レナリトミド	25mg	内服			day1-21内服(3投1休)															

7クール目以降(28日/クール)																						
投与順	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	day28		
①	○	デキサメタゾン	40mg/週	内服		②の投与1時間前に内服、点滴も可。	○						再発難治では20mgをday1,2投与								終了	
①		ジフェンヒドラミン	25-50mg	内服			○															
①		アセトアミノフェン	650-1000mg	内服			○															
②	○	ダラツズマブ(皮下製剤)	15mL/body	皮下注	3~5分	投与後30分は経過観察	○															
③	○	レナリトミド	25mg	内服			day1-21内服(3投1休)															

レナリトミド腎機能別投与量	
Ccr	投与量
30~60	1日1回10mgで開始し、2コース目終了後忍容可能な場合は15mgに増量可能
30未満(透析不要)	2日に1回15mgで開始
30未満(透析必要)	1日1回5mgで開始(透析日は透析後に投与)

## 減量・中止基準

レナリトミド		
副作用	程度	処置
血小板減少	30000/mm <sup>3</sup> 未満に減少	本剤を休薬する。その後30000/mm <sup>3</sup> 以上に回復した場合、本剤15mgを1日1回投与で再開する。
	休薬2回目を以降再度30000/mm <sup>3</sup> 未満に減少	本剤を休薬する。その後30000/mm <sup>3</sup> 以上に回復した場合、本剤を前回投与量から5mg減量して1日1回投与で再開する。
好中球減少	1000/mm <sup>3</sup> 未満に減少	本剤を休薬する。 ①1000/mm <sup>3</sup> 以上に回復(ただし副作用は好中球減少のみ)した場合、25mgを1日1回投与で再開する。 ②1000/mm <sup>3</sup> 以上に回復(ただし副作用は好中球減少以外もあり)した場合、15mgを1日1回投与で再開する。
	休薬2回目を以降再度1000/mm <sup>3</sup> 未満に減少	本剤を休薬する。その後1000/mm <sup>3</sup> 以上に回復した場合には、本剤を前回投与量から5mg減量して1日1回投与で再開する。
ダラツズマブ		
副作用	程度	処置
Infusion reaction	G1-2、G3(2回発現まで)	回復後投与可能
	G3(3回発現した場合)、G4	本剤の投与を中止すること。